



立体図形の仲間分け(5年生)

1月30日(木)3校時に5年2組で算数科の研究授業を行いました。「角柱と円柱」という単元の最初の時間にあたります。角柱や円柱の意味を理解したり、面の形に着目をして立体図形を仲間分けしたりすることが、今回のめあてです。

最初に、身近にある立体図形(菓子箱)をブラックボックスに入れて、どんな形なのかを説明するところから始めました。これまでに学習した図形に関する言葉(辺・面・頂点)や平面図形の名前などを使って説明しました。その後、今回の中心となる立体図形の仲間分けを行いました。



直方体、立方体、三角柱、六角柱、円柱の5つを2つに分けます。ただし、三角柱、六角柱、円柱という言葉はこの段階では習っていません。面の特徴などを基にして、いろいろな考え方で分けていました。グループでの話し合いでも、分けた理由をきちんと伝えていました。



この仲間分けでは、底面に注目をして角柱と円柱に分けることが大切です。授業の最後に、改めて仲間分けをしましたが、子どもたちはそのことを正しく理解することができました。



今回は初任者研修の一環として行われた研究授業でした。学級担任は、この1年間で子どもたちとともに成長しました。いたらぬ点もあったと思いますが、5年2組の保護者の皆様にはご理解、ご協力いただき、ありがとうございました。

君こそスターだ！in潮見

1月30日(木)の昼休みに、「君こそスターだ！in潮見」が、開催されました(1月31日・2月3日にも実施)。「君こそスターだ！in潮見」は、希望者による特技の発表会です。1組1分30秒の時間で、1日10組程度が発表します。発表内容は多岐に渡ります。初日には、ダンス、新体操、縄跳び、けん玉、フラフープ、歌、空手の型などが披露されました。中には、1年生のだじゃれの発表もあり、ほっこりした気持ちになりました。授業の中ではなかなか披露することはできないものも、こういった機会に発表して、みんなに見てもらえれば、自信につながります。見ている子どもたちも、友達の新たな一面を見て、感じるものがあるはずです。出るのも見るのも自由ということも、今の子どもたちにとっては大事なことなのかもしれません。



特技を披露した子どもたちは満足そうな表情でしたし、見ている子どもたちも大変盛り上がっていました。私も、楽しいひと時を過ごすことができました。